

正しい色彩と正確な明るさで複製する取り組み



デジタルカメラの標準設定で撮影した色彩 (EOS R5 スタANDARD)



オリジナル忠実設定で撮影した色彩 (EOS R5 オリジナル)

写真の仕事をしていると、複製という作業は少なからず行うのですが、単に被写体が均一な明るさで照明されていれば良いわけではありません。現物と誤解なく正確に印象を伝える事が重要です。

芸術家の高原洋一氏の作品を撮影させて頂き、此処に技術の紹介をさせて頂く許可を頂戴しました。

ページ下で紹介しているグレーチャートを使い、正しくホワイトバランスをセットし、明るさもルールに則り撮影しています。

上の写真は一般的な標準の色彩設定で撮影していますが、青やオレンジの色合いは現物の印象とはことなり、作品を正しく伝える事は出来ていません。

下の写真は色彩のバランスが現物に対し忠実になるよう、Canon 独自のピクチャースタイルという仕組みを利用し撮影しています。青にシアンが加わってオレンジも彩度が押さえられ、現物の色彩に近く再現できました。

オリジナルピクチャースタイルを使い、明るさやホワイトバランスを適切に撮影すれば、大量の複製を行う場合でもよりスピーディーに、一定レベル以上の仕上がりに出来ます。現物を手元に置いてデータの色調整が出来るケースは希であり、ルーティンとしての作業であっても、現物に近い正しい色彩再現が可能になります。職人的作業を仕組みが支えている代表例ではないでしょうか。

たかが複製と侮らず、基本的なスキルが求められる、重要な仕事と考えます。

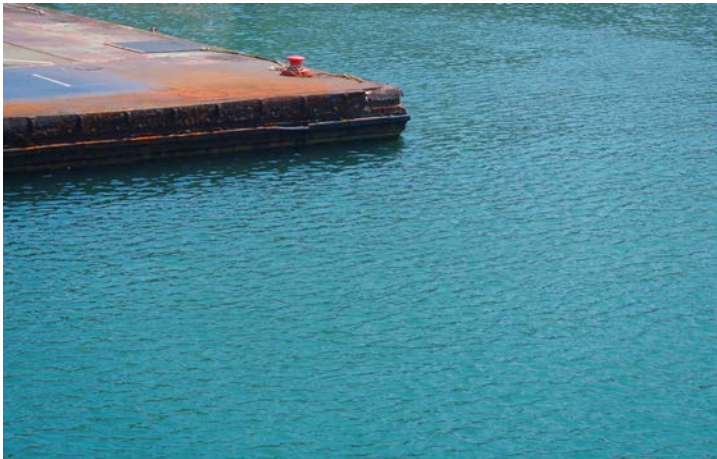
露出決定の要、グレーチャート

複製で重要なのは色彩と他に、色彩の基本となるホワイトバランスや、明るさがデジタルデータの基本に正しいかどうかです。弊社では反射率 50% の高精度グレーチャートを使用し、色の偏りをなくし明るさも現物と一致するようにコントロールしています。

高原洋一氏

岡山を拠点に様々な技法を駆使して幅広い表現により、受賞、個展多数。2022年には、愛知県高浜やきもの里かわら美術館で「高原洋一展」が予定されています。

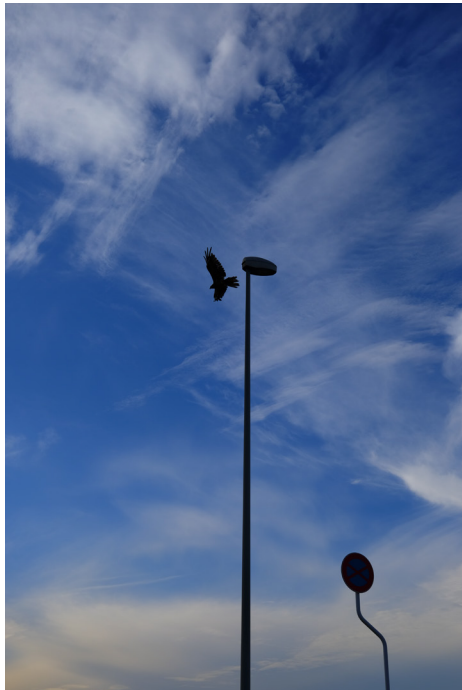
Koyama



久しぶりにフェリーに乗り、瀬戸内海に浮かぶ島に渡って撮影でした。30分ほどの短い時間ですが、海を渡る気持ちは爽快で、遠くの島なみに心地よい海風と青空に、活力が湧いてきました。こんな気持ちの時は、カメラをどこに向けても絵になる高揚感があります。「写真好き」が小さな旅に出ると、目にする景色の新鮮さに感動し、満足できる絵に出会うことが出来ました。

コロナに十分注意し、仕事完了で観光もせず帰路についたことが少し残念でしたが、写真は気持ちで撮影するものだと強く感じた一日でした。

Kusuda



季節の移ろい

つい先日、今年のクリスマスケーキの撮影を終えた。

まだ暑い盛りの8月に、不思議な感覚で12月に思いを馳せた。暦の上では、もうずいぶん前に立秋は過ぎているがまだまだ暑い。

コンクリートの照り返しの熱気の中、散歩がてら空を見上げれば、季節の移ろいを感じる秋の雲と、疲れた様に羽を傷めた鳥が、夏の終わりを告げているみたいだった。

Morita



先月末に4名の音楽家のユニットのプロフィール写真を撮影させていただき、そのとき同時に撮影したみなさんの楽器の写真です。同じ楽器ですが微妙に色や形が違ってきます。

同じ楽器の4名のユニットは全国的にも珍しいそうでこの楽器たちの個性の違いをみると4名の個性のハーモニーがどう表現されるのか、聞き比べてみたいと感じました。

この4名の音楽家の皆さんもコロナに負けず元気でがんばっておられます。我々も精いっぱい応援させていただきます。撮影のご依頼ありがとうございました。

Mizuko



MAVIC2ZOOMとEvo2Proの包括申請（無人航空機の飛行許可承認）し、無事審査を完了しました。

これにより通常、包括申請を行う際に提出する航空局作成の標準マニュアルでは飛行が行えなかった病院や学校などでも、必要な安全対策を施すことで飛行させられるようになります。通常の撮影に加え、ドローンでも静止画・動画ともに撮影できるよう研鑽を積み、お客様のニーズに応えられるように日々努めています。